

## 平成 29 年度 日本繊維機械学会賞 学術研究奨励賞 .....

学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的として設立しました。

学術研究奨励賞は、平成 29 年 3 月 25 日に開催の第 201 回理事会において、以下の通り決定し、9 月 13 日の創立 70 周年記念式典学会賞贈賞式において贈賞されました。

研究題目：「水素社会に向けた繊維強化複合材料のマルチスケール設計・解析技術の開発」

氏 名：倉敷 哲生

所 属：大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 准教授



倉敷哲生

## 第 45 回繊維工学研究討論会ポスター発表賞 .....

9 月 14 日～ 16 日に開催の第 45 回繊維工学研究討論 (The 45th Textile Research Symposium) 「ポスターセッション」の中から厳正な審査の結果、次の通りシンポジウムベストポスター発表賞を贈賞する。

東京工業大学

**Nanjaporn Roungpaisan**

発表番号：03P-1a

Structure Development of Various Poly(lactic acid)s in High-Speed Melt Spinning Process



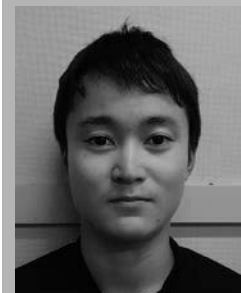
Nanjaporn Roungpaisan

名古屋大学

**鷺見 拓朗**

発表番号：09P-1a

Adsorption Characteristics of Protein by Cibacron Blue-Supported Nanofiber Fabric



鷺見拓朗

信州大学

**小林 祐輝**

発表番号：40P-2a

Survey on Thermal Condition and Micro Climate in Bedding for Assessment of Sleeping Comfort – Comparison between Hong Kong and Japan –



小林祐輝

## 講演会「繊維分析機器の最新技術～糸品質，画像解析，触覚感性～」……

近年のセンサおよびコンピュータ技術の発展によって，人間の五感知性を越えた分析技術が確立され，それらの技術は，糸，布，繊維製品の分野においても大きな革新を示しつつあります。視覚分析は，最近のカメラ画像解析技術の発展により，人間以上に高速，高分解能，広範囲のデータを多変数解析することで複雑な繊維製品の分析を可能にしています。触覚分析は，繊維の触り心地といった曖昧データを数値化し，人間感性に近いレベルが実現化しつつあります。

本講演会では，繊維分析機器の最新技術や参考となる応用事例を，糸品質，画像解析，触覚感性の3つのキーワードで紹介，解説していただきます。USTER社は紡績糸品質測定器，綿花格付機器を扱うメーカーで、『USTER STATISTICS』は60年近い歴史を持つ紡績糸品質の世界基準です。優れた技術開発と独自の品質管理手法により繊維産業で広く認知されています。ボーケン品質評価機構は画像解析によるシワ判定で，画像データ処理手法，統計的手法，ニューラルネットワーク学習等の新しい技術に取り組んでいます。京都大学山本先生は，視覚心理学，脳機能イメージング，fMRI（磁気共鳴画像法）を研究テーマとする視覚科学の専門家です。京都工芸繊維大学佐久間先生は触覚を専門分野とし，質感の「見える化」をめざしています。柔らかさを測る新たな理論を発見し小型センサの開発に成功しました。リコーインダストリーは多視点カメラ映像による生産工程可視化システムに取り組んでいます。

いずれも最新トレンドとなる分析技術であり，日ごろの活動に役立てることができる非常に興味深い講演になると思いますので，多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成30年2月27日(火) 10.00～16.30

**会 場** 大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28号出口北へ徒歩5分）

**内 容** 予定

10.00～11.00

(1) USTER社糸品質分析機器と最新の糸指標について

……………ウスターテクノロジーズ(株)技術サービスグループ グループ長 繁樹 隆

11.10～12.10

(2) 機器測定（画像解析）によるシワの判定

……………（一財）ボーケン品質評価機構 開発部 遠藤 祐里

13.10～14.10

(3) 繊維質感の心理計測と脳計測

……………京都大学 大学院 人間・環境学研究科助教授 山本 洋紀

14.20～15.20

(4) 質感の見える化（柔らかさを測るセンサ開発）について

……………京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 佐久間 淳

15.30～16.30

(5) リコーインダストリーに於ける「高品質を実現する見える化」への取り組み

～IoTの製造実践 様々な技術の融合で、新たな未来へ～

……………リコーインダストリー(株)ものづくり統括本部 戦略統括センター 生産事業開発室 峯田 稔

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員15,000円，協賛団体15,000円，非会員25,000円，学生会員1,000円，学生非会員3,000円（税別）

**申 込** 「講演会繊維分析機器の最新技術」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

# 平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」のご案内

## ■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成 8 年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約 20 年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を見直すことといたしました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座として、平成 29 年度から新たな「テキスタイルカレッジ」が始まります。

## ■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2 日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既にも実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のための利用など、多くの方に新たに始まる「テキスタイルカレッジ」をご利用いただければ幸いです。各講座の詳細は、今後の会告でご案内させていただきます。

## 平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」開講計画

| 分類               | 開 講 日  | 講 座 名                                   |
|------------------|--------|-----------------------------------------|
| 入門               | 開催済    | 1. 「2 日で学ぶせんいと布づくり」(2 日)                |
| 専<br>門<br>講<br>座 | 糸      | 開催済<br>1. 「天然繊維の糸づくり」(0.5 日)            |
|                  |        | 開催済<br>2. 「化学繊維の糸づくり」(1 日)              |
|                  |        | 開催済<br>3. 「合成繊維 (実用)」(2 日)              |
|                  | 布      | 開催済<br>1. 「組物」(0.5 日)                   |
|                  |        | 開催済<br>2. 「織物」(1 日)                     |
|                  |        | 開催済<br>3. 「編物」(1 日)                     |
|                  |        | 開催済<br>4. 「不織布」(1 日)                    |
|                  |        | 開催済<br>5. 「染色加工」(1 日)                   |
|                  |        | 開催済<br>6. 「染色加工 (実用)」(2 日)              |
|                  | 製<br>品 | 2/19(月)<br>開催済<br>1. 「アパレル製品設計の基本」(1 日) |
|                  |        | 開催済<br>2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として」(1 日) |
|                  |        | 開催済<br>3. 「実習：感性評価のための布特性」(1 日)         |
|                  |        | 1~3 月予定<br>4. 「資材用繊維製品」(1 日)            |
|                  |        | 3/2(金)<br>5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1 日)      |

## テキスタイルカレッジ

## 「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、リサイクル、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になることを期待しています。

**期 日** 平成30年2月19日(月)

**会 場** 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容**

- (1) 概論(10.00~10.30) …………… 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上真理  
1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。
- (2) 人体と衣料サイズ(10.30~11.20) …………… 元(株)ダーバン 相馬成男  
アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。
- (3) アパレル製造工程(11.30~12.50) …………… (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之  
デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを時間軸をベースに説明します。
- (4) 布の実用性能(13.50~14.40) …………… (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 森 秀樹  
アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。
- (5) 商品表示と品質保証(衣料品の事故事例)(14.50~15.40)  
…………… (一財)ボーケン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩清隆  
商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。
- (6) リサイクル(15.50~16.30) …………… 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学 名誉教授 木村照夫  
21世紀型持続可能社会の構築に対して循環型社会形成の必要性が叫ばれる中、我が国の繊維廃棄物のリサイクル率は10~20%程度に留まっています。何故リサイクル率が低迷しているのか、回収システムはどのようになっているのか、どのようなりサイクル技術があるのかについて、おもに衣料品を対象に海外の動きも取り入れながら概説します。
- (7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」(16.40~17.40) …………… (株)感性リサーチ 研究員 手塚祐基  
大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか?実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる?商品やブランドの寿命は?◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには?

- 協賛** 大阪染色協会
- 定員** 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 参加費** 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円（税別）
- 申込** テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先（所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス）, ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。
- 申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 第 46 回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム） THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

- 期日** 平成 30 年 9 月 3 日(月)～5 日(水)
- 会場** 帝人アカデミー富士（静岡県裾野市下和田 656）

### 企画委員会

|               |                      |                     |                 |
|---------------|----------------------|---------------------|-----------------|
| <b>委員長</b>    | 中西 康雅（三重大学）          |                     |                 |
| <b>副委員長</b>   | 倉敷 哲生（大阪大学）          | 東山 幸央（兵庫県立工業技術センター） | 松崎 健（ミズノ）       |
| <b>企画委員</b>   | 青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）    | 伊藤 智樹（ポーケン品質評価機構）   | 稲富伸一郎（東洋紡）      |
|               | 内丸もと子（テキスタイルデザイナー）   | 岡田 英基（東レ）           | 奥野 智朗（住江織物）     |
|               | 奥林 里子（京都工芸繊維大学）      | 佐久間 淳（京都工芸繊維大学）     | 佐藤 克成（奈良女子大学）   |
|               | 滋野 治雄（帝人）            | 杉山 研志（TMT マシナリー）    | 筒井久美子（村田機械）     |
|               | 中根 幸治（福井大学）          | 西田 裕紀（関西ファッション連合）   | 野田 博丈（トヨタ紡織）    |
|               | 馬場武一郎（日本毛織）          | 原 茂（豊田自動織機）         | 伴場 秀樹（津田駒工業）    |
|               | 廣澤 覚（京都市産業技術研究所）     | 深沢太香子（京都教育大学）       | 堀場 洋輔（信州大学）     |
|               | 森島 英暢（倉敷紡績）          | 山田 博夫（ユニチカトレーディング）  | 山田由佳子（大阪教育大学）   |
|               | 山本 温子（カトーテック）        | 吉岡 謙一（クラレ）          | 若松 栄史（大阪大学）     |
| <b>アドバイザー</b> | 宇治 光洋（ダイセン(繊維ニュース)）  | 木村 照夫（元京都工芸繊維大学）    | 武内 俊次（福原産業貿易）   |
|               | 中村 信（ダイキン工業）         | 藤井 明彦（繊維評価技術協議会）    | 松下 義弘（京都工芸繊維大学） |
|               | 六田 克俊（高知県立紙産業技術センター） |                     |                 |

**テキスタイルカレッジ****繊維製品の品質管理と品質保証** .....

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてポーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 30 年 3 月 2 日(金) 10.00~18.25

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容**

- (1) 生地 の 物 性 ・ 堅 牢 度 の 一 般 的 基 準 や 試 験 方 法 の 説 明 (10.00~11.10)  
..... (一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 課長 中野 隆史
- (2) 機 能 性 試 験 の 内 容 と 評 価 基 準 (11.15~12.25)  
..... 元 (一社)繊維評価技術協議会 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製 品 ク レ ム の 事 象 と 対 策 例 (13.15~14.25)  
..... (一財)ポーケン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩 清隆
- (4) 溶 融 紡 糸 長 繊 維 生 産 品 の 品 質 欠 点 に つ い て (14.30~15.30)  
..... TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡 績 工 程 に お け る 品 質 欠 点 と 最 終 製 品 へ の 影 響 (15.35~16.35)  
..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織 物 工 程 に お け る 品 質 欠 点 と 最 終 製 品 へ の 影 響 (16.40~17.30)  
..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編 物 工 程 に お け る 品 質 欠 点 と 最 終 製 品 へ の 影 響 (17.35~18.25)  
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内 宏城

**協 費** 大阪染色協会

**参 加 費** 会 員 15,000 円 非 会 員 23,000 円 学 生 会 員 3,000 円, 学 生 非 会 員 5,000 円 (税 別)

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申 込 先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 共催 2018 学術ミキサー

新年を迎えるにあたり、「2018 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も4年目となりました。

平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただき、繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。3学会によるスマートテキスタイル研究会も発足するなど今後とも3学会の連携を強めて行ければと願っております。

今回は、3学会会長からの新年の挨拶の後、経済産業省生活製品課より「日本繊維産業の今後の展開」についてご講演いただきます。

つづいてマーケティングの理論と実践において最前線でご活躍の博報堂ケトル嶋 浩一郎氏から「生活者の見えない欲望「インサイト」のとらえ方」のご講演をいただきます

研究～製品開発～流通～サービス…分野を問わず、皆様に聞いていただきたい大変興味深い内容です。

各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**日時** 平成30年1月24日(水) 13.00～17.00 (受付 12.30 より)

**会場** 大阪市中央公会堂 3階・小集会室 (大阪市北区中之島1丁目1番27号)  
 大阪市営地下鉄 御堂筋線 淀屋橋1番出口5分 堺筋線北浜19番出口3分  
 京阪電鉄本線 淀屋橋1番出口5分 中之島線 なにわ橋1番出口1分

### 内容

13.30～13.15

3学会の会長挨拶

13.15～13.55

講演 (1) 「日本繊維産業の今後の展開 (仮)」

..... 経済産業省 生活製品課

14.00～15.30

講演 (2) 「生活者の見えない欲望「インサイト」のとらえ方」

..... 博報堂ケトル代表 嶋 浩一郎

企業側がニーズがあるはずだと思ってやった商品開発、マーケティング施策がまったく生活者に受け入れられないことがある。逆に、意外な商品やサービスが生活者に受け入れられたり、企業側が想定もしなかった方法で製品が使われるケースもある。生活者の真の欲望をとらえるのは難しい。なぜなら、生活者自身がその欲望に気付いていないからだ。生活者の見えない欲望「インサイト」はいかにしてとらえられるのか？

15.45～17.00

交流会 (軽食)

**共催** (一社) 繊維学会, (一社) 日本繊維機械学会, (一社) 日本繊維製品消費科学会

**参加費** 3,000 円

**定員** 70 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**申込** 参加をご希望の方は、学会ホームページの申込フォームよりお申し込みください。

学会 HP : <http://www.shohikagaku.com>

**問合先** (一社) 日本繊維製品消費科学会

〒530-0042 大阪市北区天満橋 2-2-7-403 アルカディーナ天満橋リバーサイド

TEL : 06-6358-1441, FAX : 06-6358-1442, E-mail : shohikagaku@nifty.com

## 第71回年次大会研究発表募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和23年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第71回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

**期 日** 平成30年6月1日(金)、2日(土)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ徒歩3分)

### 発表募集内容

[ ] 内はオーガナイザー

#### 1. 研究発表セッション

##### (a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸 (信州大学), 朱春紅 (信州大学), 末弘由佳理 (武庫川女子大学), 辻 創 (カケンテストセンター), 松岡敏生 (三重県工業研究所)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価)

##### (b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰 (金沢大学), 太田成利 (村田機械), 橋本欣三 (TMT マシナリー), 保田和則 (愛媛大学), 山田茂生 (津田駒工業)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合繊維機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

##### (c) ナノファイバー

[山下義裕 (大阪成蹊短期大学), 小野努 (岡山大学), 金翼水 (信州大学), 中根幸治 (福井大学), 向井康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

##### (d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学), 藤田浩行 (兵庫県立工業技術センター)]

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

##### (e) 環境対応技術

[小田 涼太 (三晶), 内丸もと子 (M.U.PLANING), 豊田 宏 (太陽工業)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

##### (f) 繊維強化複合材料

[中西康雅 (三重大学), 植松英之 (福井大学), 倉敷哲生 (大阪大学), 仲井朝美 (岐阜大学), 西脇剛史 (アシックス)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, 金属基複合材料, セラミックス基複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, マトリックス材, 複合効果, 傾斜機能

##### (g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子 (神戸女子大学), 高井由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修理・修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財



(h) 被服心理・ファッション

〔徳山孝子（神戸松蔭女子学院大学）〕

キーワード：アパレル，色彩，デザイン，消費者，ビジネス，ジェンダー，顧客満足，ブランド，流行，購買行動，ユニバーサルファッション

(i) 染色・機能加工

〔奥林里子（京都工芸繊維大学），上坂貴宏（京都市産業技術研究所），榎本雅穂（京都女子大学），岡田倫子（滋賀県東北部工業技術センター），桑原里実（椋山女学園大学），解野誠司（和歌山県工業技術センター），廣垣和正（福井大学），松原孝典（産業技術短期大学），安永秀計（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境／持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔横山敦士（京都工芸繊維大学），若松栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

(k) 産業用繊維資材および不織布

〔田上秀一（福井大学），増田敦士（福井県工業技術センター）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル），医療・衛生用，工業用，土木・建築用，自動車用，生活資材用，インテリア用，寝装用，皮革用，二次電池用などの不織布

**2. 製品紹介セッション**

〔武内俊次（福原産業貿易），井上真理（神戸大学），河原喜久（帝人フロンティア），迫部唯行（ユニチカ），筒井久美子（村田機械），須山浩史（東レ），馬場武一郎（日本毛織）〕

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。

その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。

広い範囲から製品，技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

**3. ポスターセッション**

〔山本貴則（大阪産業技術研究所），小田涼太（三晶），廣垣和正（福井大学）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。

このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

**学術奨励賞について**

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション，ポスターセッションは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により，提出された原稿に基づく第一審査，第一審査を通過された場合，当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし，ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

**ベストポスター発表賞について**

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月1日（金）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし，学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

**発表申込方法**

以下サイトより WEB 申込みをしてください。

URL : [https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry\\_annual.php](https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php)

**発表申込・要旨原稿提出締切**

発表申込締切：平成 30 年 2 月 23 日（金）17 時必着

原稿提出締切：平成 30 年 4 月 9 日（月）17 時必着

**その他**

- (1) 講演 1 件につき、講演時間 20 分（質疑応答 4 分、交代 1 分を含む）を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は、重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) 要旨集の配布は、紙媒体（冊子）とダウンロード方式（期間限定）による配布を行います。
- (4) 講演要旨集の発行日は、平成 30 年 5 月 25 日（金）です。
- (5) 原稿は、学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き、書式にしたがって A4 判 2 枚以内にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 枚で作成して下さい。
- (7) ポスターボードの大きさ
  - ①学術研究発表コーナー：たて 1170 mm、よこ 870 mm.
  - ②製品紹介コーナー：たて 841 mm、よこ 594 mm.
- (8) 参加登録費：会員・発表者 8,000 円、非会員 13,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円  
（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）  
発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。

**問合せ先**

日本繊維機械学会 第 71 回年次大会実行委員会  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 平成 30 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集 .....

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE（Journal of Textile Engineering, 本学会論文集）に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、平成 30 年 2 月 5 日（月）必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部（様式は自由）

**提出書類**

- (1) 氏名ならびに生年月日
- (2) JTE に掲載された論文一覧（著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁）
- (3) 推薦書（自薦、他薦にかかわらず 400 字以内）

**申込先**

日本繊維機械学会 学術賞選考委員会  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL : 06-6443-4691, FAX : 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

# 平成 30 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 30 年 1 月 15 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

**提出書類** 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

**選考方法** (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。

- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

**その他** 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

**応募締切** 平成 30 年 1 月 15 日(月) 17 時必着

**申込先ならびに問い合わせ先** 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

**参考資料** 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」

..... 東レ(株) 主森 敬一, ニノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘

「生体を模擬した中わた素材の開発」

..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一

..... タイ・クラボウ(株) 山内 一平

..... イシケン(株) 石川 和延

・平成 28 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦

..... 川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂

..... (株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

・平成 29 年度受賞技術

「柔らかか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭

..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二

..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

# 創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

## 1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

## 2. 応募資格

2017 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

## 3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

## 4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

## 5. 応募の締め切り

2018 年 2 月 5 日(月) 必着

## 6. 選考結果の発表

2018 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

## 7. 表彰

2018 年 6 月 2 日(土)【年次大会 2 日目】に、学会賞授与式を開催します。  
賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

## 8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。  
さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

## 9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

## 平成 30 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 30 年 2 月 28 日(水)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

## 日本繊維機械学会フェロー規程

### 目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

### フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

### 推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

### 推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

### 選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

### 認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

### 任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

### 登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

### フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

### 附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

## 日本繊維機械学会フェロー内規

### 1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

### 2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名（理事）

副委員長 1名（理事）

委員 3名（委員長指名による会員）

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

### 3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

### 附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

## 平成30年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

平成30年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

**申込** 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先（電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、⑤専門分野を明記の上、平成30年1月19日（金）までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

**申込先** 日本繊維機械学会論文賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## お知らせ FMC1月度セミナー

FMC (ファッション素材センター) の1月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**期 日** 平成30年1月12日(金) 18.15~20.00

**会 場** 大阪産業創造館 6F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容** 66才布が欲しくて突然ネパールへ行く

色とりどりの写真を見たとき「この布が欲しい! デザインは頭の中にある、テーマはアジアの花にしよう」一気に思いが沸き立ちました。この写真は、偶然ネパール料理のお店で会った女子学生に見せて貰った写真でした。1ヶ月かけてインド、ネパールを巡って写した写真でした。2017NDK ファッションショーに出品する構想(デザイン、色、布)は決めていたのですが一気に変換です。

行ってみると古くからの文化が息づき、地震の爪あとが生々しく残る中、生きる原点のような生活を目の当たりにして、今の生活を振り返る良い機会を頂いたと思っております。

布のこと、ネパールのことを感じたままにお話しさせていただきます。

**講 師** 創作婦人服 coutureK 代表、洋裁教室アトリエK主宰 高嶋 恵子

**参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー(10月は見学会)に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になります。]

**申 込** 「FMC1 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、1月5日(金)までに E-mail にてお申し込み下さい。

**申込先** 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局  
E-mail : [fmc.office.mail@gmail.com](mailto:fmc.office.mail@gmail.com)

## お知らせ アパレル製品の基礎知識講習会

### 大阪会場

期 日 : 平成 30 年 1 月 13 日(土)、20 日(土)、27 日(土)

会 場 : 大阪産業創造館 内容 : 繊維の基礎的・実用的知識

### 東京会場

期 日 : 平成 30 年 2 月 10 日(土)、17 日(土)、24 日(土)

会 場 : 機械振興会館

### 名古屋会場

期 日 : 平成 30 年 1 月 27 日(土)、2 月 10 日(土)、17 日(土)

会 場 : 名古屋都市センター

**主 催** 日本繊維技術士センター

**問合先** 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)

TEL : 06-6484-6506, FAX : 06-6484-6575, E-mail: [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

**その他** 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://jtcc.c.ooco.jp/>) をご参照下さい。